

平成24年度 第1回 四街道市地域公共交通会議 会議録（概要）

日 時：平成24年5月23日（水） 15：30～16：30

場 所：四街道市役所 5階第1会議室

出席者 委員：榛澤会長、芦沢副会長、池上委員、花崎委員、土屋委員、古舘委員、
小林委員、松澤委員、池田委員、實川委員、石川委員、武富委員
オブザーバー：千葉内陸バス(株)常務取締役寺澤秀郎

事務局出席者：岡田経営企画部長、大野経営企画部次長、大野政策推進課長、石渡副主
幹、多田副主査、三好副主査

傍聴者 : なし

会議次第

1. 開会
2. 会議録の作成について
3. 会議録署名人の指名について
4. 傍聴及び傍聴人への資料配布について
5. 議事
 - (1) 市内循環バス「ヨッピー」の改善（案）について
 - ①ヨッピールート見直し案、ヨッピー見直し運行方針（資料1-1）
平成23年度ヨッピー乗降状況（資料1-2）
 - ②ヨッピー見直しにかかる収支予測（資料2-1）
ヨッピー運賃体系案（資料2-2）
 - (2) その他
公共交通空白地域・不便地域の状況について（報告）（資料3）
6. 閉会

開会

【事務局】 定刻になりましたので、ただ今から、平成24年度第1回四街道市地域公共交通会議を開催いたします。

本日は12名のご出席をいただいておりますので、四街道市地域公共交通会議条例第5条第2項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。

なお、今回、委員の異動がございましたので、ご報告いたします。

今年度、人事異動によりまして、前任者の残任期間により委嘱いたしました、千葉県印旛土木事務所調整課長の實川委員でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

（實川委員自己紹介）

また、新たに千葉内陸バス株式会社代表取締役社長に就任され、委嘱いたしました芦沢委員、及び千葉内陸バス株式会社労働組合、石井委員が欠席されておりますが、会長に事前にご承認をいただきまして、地域公共交通会議条例第5条第4項「会長が必要と認めるとき、委員以外の者の出席を求め、意見・説明を聴くことができる」の規定により、千葉内陸バス株式会社の寺

澤常務取締役にもオブザーバーとして、ご出席いただいておりますので、ご紹介いたします。

(寺澤常務自己紹介)

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

はじめに、今年度の人事異動によりまして、経営企画部長に着任いたしました岡田でございます。

経営企画部次長に着任いたしました大野でございます。

統計交通グループリーダーの石渡でございます。

続きまして、昨年度から引き続き、担当させていただいております、政策推進課課長の大野と担当の多田、三好でございます。

よろしく願いいたします。

それでは、事務局を代表いたしまして、岡田経営企画部長からごあいさつさせていただきます。

—— 岡田経営企画部長 あいさつ ——

それでは、このあとの進行につきまして、地域公共交通会議条例第5条第1項の規定により、会長をお願いいたします。

—— 会議録の作成について ——

【榛澤会長】 本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

議事に先立ちまして、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、前回同様、明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

異議なしと認めます。

—— 会議録署名人の指名について ——

【榛澤会長】 続きまして、本日の会議の会議録署名人は、花崎委員、古舘委員にお願いします。

—— 傍聴及び傍聴人への資料配布について ——

【榛澤会長】 続きまして、傍聴希望の方がいるか確認をします。事務局、いかがですか。

【事務局】 おりません。

—— 議事概要 ——

【榛澤会長】 それでは本日の議事に入ります。

本日の議事は、昨年度から協議を進めてまいりました、市内循環バス「ヨッピー」の改善について、及びその他でございます。

それでは、議題に沿って進めさせていただきます。

議題（１）『市内循環バス「ヨッピー」の改善（案）について』ですが、最初にルートや運行方法など運行方針について、ご意見等いただき、次に、運賃見直しにかかる収支予測、運賃体系について、ご意見等を伺う進行とさせていただきますしたいと思います。

—— 議題 1：市内循環バス「ヨッピー」の改善（案）について ——

- ① ヨッピールート見直し案、ヨッピー見直し運行方針（資料 1－1）
平成 23 年度ヨッピー乗降状況（資料 1－2）

【榛澤会長】 ヨッピー見直しルート案、運行方針、23年度の乗降状況について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 ○資料 1－1、資料 1－2 について説明

【榛澤会長】 今の説明に対して、何かご質問はございますか。

【芦沢副会長】 公共交通のあり方の報告書 p 32 にありますとおり、右回りの方が利用者が多く、また、東関東自動車道以北においても同様の傾向であるにも関わらず、左回りの方を現行のまま残す理由は何か。

【事務局】 資料 1－2 は昨年度 3 日間のヨッピーの乗降状況を調査した結果ですが、東関東自動車道以南の大日保育園から第二庁舎までの利用が多くなっていますことから、右回りを市街化区域を中心に小循環とし、効率的に乗客を駅の方に運んでくるように考えたものです。

【芦沢副会長】 どちらか一方を現行のまま残すのであれば、利用者の多い右回りを残した方が多く乗ってもらえるのではないかと思います。質問したところですが、どうして右回りの方が利用が多いのか、良く分かりませんが、理由が分からないまま、いずれかを残すのを決めるのもいかがかと思います。どうして左回りを現行どおりとしたのでしょうか。

【事務局】 右回りについては、朝の時間帯に大日保育園、桜ヶ丘北あたりから第二庁舎までの利用が非常に多いので、右回りの方の利用が多いのではないかと考えています。今回見直しのルート案で右回りは大作岡地域も通りますが、東関東自動車道より南側の利用の多いエリアの効率的な運行を考えたものです。

【榛澤会長】 朝の時間帯に多いとのことですが、時間帯ごとのデータはありますか。

【事務局】 大変申し訳ありませんが、時間帯ごとのデータは今持ち合わせておりません。利用の多い停留場については限られている訳ですが、比較的朝に乗車される方が多い関係で大日保育園あたりの利用が増えており、その一方、資料 1－2 にありますとおり、降車される方が少ないことから、帰りのご利用が少ないことが推測されます。そのようなことから右回りの利用が多いのではないかと考えています。また、東関東自動車道以北を回る際も左折で回れますので、左回りの方が運行上スムーズであるということも考えられると

思います。

【芦沢副会長】 私の質問は、報告書P32において、東関東自動車道以北のエリアにおいては、右回りの方が利用が多いにもかかわらず、左回りを残すということが分からないということです。いずれか一方を残すのであれば右回りを残せば良いのではないかと。

【事務局】 今回お示したルート図において、富士見ヶ丘中央がほぼ中間地点になり、駅に向かう際にも、右回り左回りのどちらをご利用いただいても所要時間は変わらない位置になっています。

【榛澤会長】 報告書p32のデータを見る限り、右回りの方が通過人員が多くなっていますので、東関東自動車道以北にどちらか一方を残すのであれば、右回りの方が良いのではないかとという芦沢副会長からご意見がありましたので、事務局において次回までに精査して頂けますか。

【事務局】 精査し、次回お示しさせていただきます。

【榛澤会長】 他に何かございますか。

ございませんでしたら、先に進めさせていただきます。

—— 議題1：市内循環バス「ヨッピー」の改善（案）について ——

② ヨッピー見直しにかかる収支予測（資料2-1）

ヨッピー運賃体系案（資料2-2）

【榛澤会長】 続きまして、ヨッピー見直しにかかる収支予測、ヨッピー運賃体系案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 ○資料2-1、資料2-2について説明

【芦沢副会長】 現行100円の運賃を値上げした場合の逸走率ですが、他市の例であるように運賃を200円とした場合の逸走率が35%であれば、逸走率が10%ぐらいでとどまってくれば、運賃160円の方がむしろ収入が多い訳で、その線を狙っているということだと思います。

その逸走率をいかに低くするかということが重要になるということで、下の方にそのための利用促進策が掲げられていますが、2番目の四街道駅ロータリーへの乗り入れは非常に効果的ではないかと思えます。また、いかに沿線の人に「みんなにヨッピー支えよう」という意識を持ってもらえるか、世論の盛り上がりのようなものが重要と思えます。こういったことは結構効果がありますので、単に「バスが走っています」というものではなく、いろいろな角度からのPRを工夫して欲しいと思えます。それから、ICカードの利用促進とありますが、今後160円という半端な金額になりますので、ICカードがどこで買えるかも含めて、きめ細かくPRして頂きたいと思えます。

事務局としては160円とした場合の逸走率はどれぐらいを見込んでいるのでしょうか。もしくは希望的な水準はどれぐらいと考えていますか。

【事務局】 実施してみないと分からないということもありますが、希望としては10%から20%の間でとどめたいと考えています。100円から200円ですと単純に倍になり、他市の事例では35%ですが、ヨッピーの場合は極限られた狭い範囲での運行ですので、場合によっては逸走率がもっと高くなってしまいますので

はないかと懸念しており、事務局としては 160 円とさせていただき、併せて利用促進策を実施することにより、10%台の半ばぐらいまでにとどめたいと考えています。

【榛澤会長】 四街道駅前ロータリーへの乗り入れということですが、千葉内陸バスさんとして何かご意見はありますか。

【寺澤常務】 通常コミュニティバスは駅前ロータリーには乗り入れないのが大原則ですが、今回は4条免許を取得して一般路線として入れますし、運行頻度的にもさほど多くありませんので、問題はありません。

【榛澤会長】 ご協力ありがとうございます。
他にございますか。

【小林委員】 前年度の話し合いの中でも、もう実証実験をやってみてはどうかという話のところまで上がっていたと思います。平和交通さんの若松四街道線も最初のころは1日3.5人だったのが、40人になり、今ではちゃんと運行できているということもありますし、つくし座線も自治会ががんばってなんとか1日400人にしないとバスがなくなってしまうと、自治会が盛り上がっているからこそ今でも運行を続けていると思います。朝などを見てもさほど乗車率も良くないように思えるのですが、バスは普通に民間の方が運行してくれています。本来、ヨッピーも民間に任せの方が一番良いと思いますが、若松四街道線などと比較してヨッピーは本当に利益の出せない路線なのでしょうか。

【寺澤常務】 ヨッピーは補助金を1,300万円ぐらいもらって運行していますが、この運行本数を人件費を使って運行すると、まず無理です。いろいろ努力しても、人があまりない所を、交通空白地域の解消という位置づけで走っている以上、そこで利益を出すことは難しいです。

【榛澤会長】 今の小林委員のご意見は今後の課題とさせていただきたいと思います。
資料3にありますとおり、市内の公共交通空白地域・不便地域に対して、穴埋めしている状況ですので、そのあたりについて事務局から説明をお願いします。

【事務局】 ○資料3について説明

【榛澤会長】 昨年度取りまとめました公共交通のあり方の中で、地域間格差を是正しようということになっていますので、順次取り組んでいるという状況とのことです。こちらにつきましては、報告事項ということで、事務局の説明のみとさせていただきます。

それではヨッピー見直し案に戻りまして、事務局より運賃を値上げした場合の逸走率を踏まえた収支予測や運賃体系について説明がありましたが、こちらにつきましては皆様ご理解頂けましたでしょうか。

それでは運賃は160円、割引等の運賃体系も千葉内陸バスに準じるという事務局案でよろしいでしょうか。

(委員意見なし)

それでは、この案で試行することとします。

公共交通空白地域・不便地域の状況について（報告）

- 【榛澤会長】 続きまして、『その他』でございますが、事務局から何かありますか。
- 【事務局】 お配りしました、四街道路線バス案内につきましてご説明させていただきます。
- 四街道路線バス案内の説明
- 【榛澤会長】 これに広告をつければ市の負担も軽減されると思いますが。
- 【事務局】 今回はこれが完成版ですが、今後はそのようなことも考えられると思います。
- 【榛澤会長】 他に何かありますか。
- 【土屋委員】 ノーカーアシスト優待証制度についてですが、警察の発行する運転経歴証明書ではなく、500円払って優待証を発行してもらい、その優待証を持っている方が割引になるということですか。
- 【寺澤常務】 はい。手続きを行い、優待証を発行してもらい、それを乗車時に見せて頂くことにより割引になります。
- 【花崎委員】 500円はデポジットで、優待証を返納すると帰ってくるのですか。
- 【寺澤常務】 500円は発行手数料として頂いています。
- 【土屋委員】 タクシーでは警察の発行する運転経歴証明書を提示すれば、1割引になるという認可上の制度となっていますので伺いました。
- もう1点よろしいでしょうか。23年度のヨッピーの利用者数は22年度と比べて大分増加していますが、増加要因は把握していますか。
- 【事務局】 年間で4,000人以上利用者が増加しております。増加要因ですが、月別に数字を見ましても、各月それぞれ増加しており、これという要因については把握できておりません。これまで約10年間運行していますが、微増傾向が続いている状況です。
- 【寺澤常務】 沿線を見ますと、造成され新しい家がかなり建っていますので、人口の増加も考えられるのではないかと思います。
- 【榛澤会長】 よろしいでしょうか。
- 【芦沢副会長】 先ほどのお話の中で、案の運賃体系で試行してみるという話がありましたが、どれぐらいの期間で試行し、評価するのでしょうか。
- 【事務局】 なるべく早い時期にと考えています。そもそも、運行から10年以上見直しをせずに、試行状態のまま来ているのご指摘もありましたので、それを踏まえますと、今回は試行というよりは見直しと考えていましたが、試行期間を設けた方が良いということであれば、半年とか一定期間の試行期間を経てから本格実施ということでも問題ありません。
- 【榛澤会長】 今までの経緯から100円に戻すことは難しいと思いますので、あとは160円にするのか200円にするのかという点だと思います。
- 【芦沢副会長】 そうですね。160円を試行だとすると、本格実施にあたって、少なくともその水準は維持するべきだと思います。160円に値上げをした場合の逸走率や効果について見極めて、たとえば路線を増やすとか、いろいろな意味での別の改良を考えるという、そういった意味での試行と考えた方が建設的かと思います。そのあたりは今後議論していくべきだと思いますので、お考え頂ければと思います。

- 【榛澤会長】 160 円よりは下げないということでやっていく必要があると思いますので、試行という言葉についてはどうかと思いますが。
- 【土屋委員】 あまり短期間で運賃を変えることは、利用者から信頼されなくなってしまうのではないかと思いますので、試行という形ではなく、本運行とした方が良いと思います。利用者も不信感を持ってしまうと思います。
- 【榛澤会長】 市民の方から見れば、160 円は当たり前だ、むしろもっと高くても良いのではないかと思われている方も多いと思いますので、試行ではなく、見直しということで実施してはいかがでしょう。
- 【小林委員】 賛成です。年間 1,300 万円使われている税金をなんとかしようということで話し合っていますので、本運行で運賃 160 円、四街道駅ロータリー乗り入れということでお願いしたいと思います。
- それでだめならば、民間への移譲とか何か別の方法を組み立てていった方が良いと思います。
- 【古舘委員】 当初の運賃 100 円が 10 年以上検証されることが無かったということですが、今回はそういったことがないように、一定期間たった時点で検証を行うということで、今回は試行ではなく、改定という形にしてはいかがかと思えます。
- 【芦沢副会長】 委員皆さんのご意見は一致しているところのようです。試行というと非常に曖昧な印象を与えてしまいますので、変えましたという言い方をします。但し、ある一定期間を経た時点で検証を行い、場合によってはダイヤや路線を改善していくということによろしいかと思えます。
- 【榛澤会長】 結論としましては、ヨッピーの改善策については委員皆さんの了解を得ましたので、試行ではなくこれで実施して頂くということでお願いします。
- 但し、確認する点が 2 点ありまして、1 点目として東関東自動車道以北の右回り、左回りの点についての精査と、2 点目としまして一定期間後に検証を行って頂きたいということです。
- 他に何かございますか。
- 【事務局】 今回の見直しにつきましては、市といたしましても改定という形で臨んでいきたいと思えます。
- ご指摘の検証につきましても、今後より多くの方に利用して頂き、また市の補助を削減するなどいろいろな観点から、例えば 1 年ごとなど一定期間ごとに検証していきたいと思えますので、ご理解いただければと思えます。
- また、右回り左回りの件につきましても、精査し次回皆様にお示しさせていただきたいと思えます。
- ヨッピーの見直しによる運行につきましては、慎重に検討し、なるべく早めに改定したいと考えています。できれば今年度中、遅くとも来年度早々に実施したいと考えており、次回は時刻表案など、さらに詳細内容をお示ししたいと考えております。
- 今回の会議日程については、本日、開催通知をお配りさせていただいておりますが、7 月 17 日火曜日午後 1 時 30 分から、本日と同じくこちらの会場で開催させていただきたいと思えます。お忙しいとは思いますが、よろしく願いいたします。以上です。

【榛澤会長】

その他、皆様から何かございますか。
他になければ、本日の会議はこれにて終了したいと思います。
本日は、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

以上